

区の取組内容(②)

モデル区では区の負担軽減や業務の見直しなど、様々な取組を行っています。各区の実態に応じて改善を行うことは、一筋縄ではいかないこともあります、課題について積極的に動くことが改善への一歩となります。

ちの地区 塚原区

当初、役員の事務作業軽減を目的にこの会議に参加しました。現状は区長と区会議員間の通知・連絡等をSNSで済ませるようにし、だいぶ楽になりました。しかし、その先にはなかなか進めていません。デジタル化は区長が片手間でできる事ではないので、誰がどのように進めて行くようにすればいいのかが大きな課題です。

玉川地区 穴山区

穴山区は、高齢化率の高い区で、業務効率化を含めた負担低減を進めないと、区長職をはじめとする役職を遂行するのが難しくなることが予想されています。今回他地区で導入されたアプリの効果などを確認しながら、負担が増加している区費の値下げも推進しました。

玉川地区 粟沢区

粟沢区では、区長職の業務負担軽減や区民の利便のため、配布物やお知らせのデジタル配信、災害時の安否確認ができるアプリ導入に向けIT事業者と連携を開始しました。また、負担感が増加している区費の値下げも推進しました。

玉川地区

小堂見区(こどみく)

回覧板をデジタル化！

目指すこと

- 仕分け・配布の負担軽減へ
- 情報伝達の効率化へ
- 紙など経費削減へ



小堂見DX会の皆さん
(2025区民祭(ハロウィン)より)

沿革

2023年11月 茅野市モデル区会議に参加
2024年2月 特別委員会を設置(小堂見DX会)
2025年4月『防災・回覧アプリ Yumicom(ユミコム)』導入

一住みたくなる小堂見を目指して

区民の負担を減らしたいという想いで活動をしています。現在、特別委員会発足2年目を迎えるとともに、2025年4月から『防災・回覧アプリ Yumicom(ユミコム)』が本格導入されました。DX会は、アプリの運営だけでなく、“小堂見区のこれまでと現状→これからの予測”などをデータ化して提供し、区民や区議会など区の運営に役立ててもらう活動も行っています。

導入からもうすぐ1年 区民の声は

- 飼い犬が逃げてしまった時「投稿BOX」を利用してすることで“検索依頼”と“保護後のお礼”もできた。
- 「デジタル回覧板」であとから見返すことができる、回覧板の回るスピードが速くなった。
- 家族みんなで回覧内容を共有できて便利
- 県外に住んでいる家族もふるさとの行事や活動内容を閲覧できてうれしい。(→家族追加機能)
- 常会や班ごとの連絡がスムーズになり、見逃しやうっかりを防ぐことができそう。(→トーク機能)



身近な地域づくりの
お問い合わせフォーム



市担当課

モデル区会議を通じて区・自治会の改革は単年で実績を出すことは難しいと感じました。多くの意見を自治会運営に取り入れ区・自治会に入ってよかったですと思つてもらえるようにすることが大切だと思います。今までの当たり前にとらわれずに、みんなが心地よく暮らしやすい地域社会と一緒に創っていきましょう。「地域をもっと良くしたい」と思つたら、QRコードからお問い合わせください。

問 パートナーシップのまちづくり推進課 コミュニティ推進係 ☎72-2101(内線141・142)

モデル区会議の開催！

モデル区会議ってなに？

各地区から役員のなり手不足などのご意見をいただいたことから、持続可能な区・自治会を目指し、運営効率化や負担軽減、あり方検討等の協議のため、応募いただいた市内4区と実施した会議です。

背景

「まちづくり懇談会」で、区の課題について様々な意見交換が行われました。

- 市からの依頼事項が多い(配布、役員選出など)
- 区・自治会活動の負担が大きい(会議、作業など)
- なり手不足(高齢化、入区者の減少)

対応

令和5年8月 モデル区会議参加募集
⇒塚原区、穴山区、粟沢区、小堂見区が参加
令和5年11月～令和7年11月までに計21回会議を開催しました。

【会議の取組内容】

- ①市からの依頼事項の見直し
- ②区・自治会の運営効率化・あり方の検討
(記事内にある①・②にそれぞれ対応しています。)

区・自治会 『負担軽減に向けて』

茅野市では、区・自治会役員の負担軽減や担い手不足の解消に向けて、区・自治会役員負担軽減策協議モデル区会議(通称:モデル区会議)で協議や試行を行なながら、様々な取組を行いました。

負担軽減に向けて、何が負担なのか？ ワークショップの結果一例(②)



会議関係(資料、通知、議事録)	草刈り 樹木の剪定	苦情の対応
交通規制の区内放送	ゴミステーション管理	役員選出
工事書類への署名、押印	文書の仕分け配布、回覧	区費、募金の集金

発見

まずはできることからやってみよう!!

モデル区会議では、以下のことを実践しました！

- リモート会議の実施
- 議事録作成のデジタル化
- 自動文字起こし機能
アプリの活用など



区全体の負担を減らしたい

区役員も負担だけど、それを引き継いでいかなければいけないことで、区全体が負担となっている。

例えば…

- 役員のなり手不足
- 議事録・資料作成
- 会議関係の負担など



行政の取組内容(①)

令和5年2月 区・自治会役員負担軽減に向けた取組を開始
【令和5年取組内容】

○市区長会議でモデル区会議の実施について意見交換

○モデル区会議募集・会議開催

○区長経験者向けアンケート実施(表1)

【令和6年取組内容】

○区長宛文書取扱要領策定により、全戸配布等のルールを明確化

○役職推薦依頼の一本化、時期の統一

○回覧板アプリの導入検討(各地区区長会意見交換、アンケート実施等)

【令和7年取組内容】

○要望書のデジタル化

表1 令和5年実施区長経験者向けアンケートの結果

